

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターとさっちくらぶ（保育所等訪問支援）				
		公表日 2026年3月10日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 運営・ 整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		絵カードなど必要に応じて作成している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		事例に応じて多職種で連携し、適切に対応できる体制を整えている。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		報告書やカンファレンス等を通じて、職員間の情報共有を行っている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意向を随時確認しながら支援を行っている。また、訪問結果については面談の機会を設けて報告している。さらに、年1回の評価を実施している。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で定期的にミーティングやカンファレンスを実施し、子どもの様子や支援状況について情報共有を行っている。また、定期的な面談を通して保護者との共有も図っている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		必要に応じてスーパーバイズを受け、業務内容について助言や意見を取り入れている。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員の専門性に応じた研修受講を推進するとともに、療育福祉センター等が実施する研修への参加機会を確保している。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		保護者のニーズや子どもが過ごす環境における課題を把握するとともに、定期的なアセスメントとカンファレンスを実施し、現在の状況を踏まえた計画を作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間でカンファレンスやミーティングを実施し、日々の支援状況を共有しながら支援方針やプログラムの検討・立案を行っている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		個別の配慮に加え、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた支援を検討している。また、訪問時には担任や施設担当者と面談を行い、子どもの状態について共通理解を図りながら連携している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援方針を確認しながら支援を進めるとともに、計画書については職員間で確認・共有を行っている。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		定期的な発達検査および適宜アセスメントを実施し、子どもの強みや課題について職員間で共通認識を図っている。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		訪問先施設と協議しながら、現場で取り組みやすい支援内容や方法を検討している。また、具体的な支援方法を明確に記載するよう努めている。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援方針を確認しながら支援を進めるとともに、計画書については職員間で確認・共有を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		訪問先施設と支援内容や対応について協議を行い、共通理解のもとで対応している。また、訪問時の確認項目を共有し、適宜ミーティングを実施しながら支援内容の確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問時の様子や園での状況について記録を作成し、紙面で共有している。共有した情報は施設での個別支援に反映できるよう活用している。	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の方針や担任の意向、クラス運営の状況を理解するよう努めながら、担当者や協議し、無理なく実施できる支援内容を検討・提案している。		

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○	訪問ごとに報告書を作成し、ニーズや課題の整理を行っている。また、保育所での様子を記録し、施設での個別支援につなげている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的に話し合いの場を設け、保護者や訪問先と連携しながら、園生活の様子を継続的に聞き取り対応している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	管理者や児発管を中心に対応し、担当職員も参加する体制としている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	担当者会等に参加し、顔の見える関係性の構築に努めている。 また、必要に応じて関係機関と情報共有を行い、連携している。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	サマリ作成や担当者会、報告書等を活用して情報共有を図り、必要に応じて情報提供書を用いて共通理解を行っている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○	年間計画に基づき職員が研修を受講し、療育福祉センターの見学や助言の機会を設けるとともに、研修参加を通して知識・技術の向上を図っている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○	管理者を中心に、担当スタッフが参画している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	LINE等も活用して情報共有を行い、保育所訪問での子どもの様子や見えた課題を来所時に伝える機会を設けている。 また、定期的に発達評価や保護者面談を実施し、状況や課題について話し合っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	必要に応じて情報共有を行っている。広告の設置はしているが、周知の積極性には課題がある可能性がある。 また、土佐市と共催のペアレントプログラムで講師を務め、定期的にも実施している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時および利用開始時に説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○	話し合いの場を設けて目的や課題、ニーズの把握に努め、利用開始時に説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	定期的に面談の機会を設け、対応するとともに意向の確認を行っている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○	話し合いの場や定期的な説明の機会を設け、支援計画を説明のうえ同意を得て支援を行っている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な助言と支援を行っているか。	○	定期的な面談に加えて必要に応じた面談も適宜行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	○	直接的な会は実施しておらず、必要に応じて対応していく予定である。 なお、研修会等を通して保護者同士が交流する機会はある。	直接的な会は実施しておらず、必要に応じて対応していく予定である。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	必要に応じて管理者等と話し合いを行い、保護者の意向を確認しながら対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	SNSやチラシを活用して情報提供を行っている。主にSNSを中心に情報発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	委員会活動等で取り決めを行い周知するとともに、個人情報外部に漏れないよう注意している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	分かりやすい言葉を用いるなど適宜対応し、言語でのコミュニケーションが十分でない児にはPECSを取り入れるなど、代替手段も検討しながら意思疎通が図れるよう支援している。	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○	困りごとに応じて適切に対応できるよう多職種連携を行い、圖で取り入れやすい手立てを提案するとともに、訪問先と話し合いができる体制を整えている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○	日程調整を行い、定期的な訪問先とのカンファレンスを実施している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○	報告書を作成して情報共有を行い、保護者への報告時間や面談を設けて内容を説明し、そこからつながる支援内容を伝えている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	契約時等に説明を行い周知するとともに、外部に情報が漏れないよう注意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○	個々のケースに応じた困りごとを把握し、適切な対応と一緒に検討するとともに、訪問先の担任等と十分にコミュニケーションを取りながら支援を行っている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	年間計画に基づいて実施し、定期的に訓練を行いその様子を掲示板等に掲示している。また、職員や家族がマニュアルを確認できるようにしている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	年間計画に基づき研修や訓練を実施し、安全管理を行いながら支援している。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	委員会等で情報共有を行い、ヒヤリハット発生時には速やかに報告して職員間で共通理解を図っている。また、報告書を作成し、ミーティングを通して情報共有している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	研修会に参加して職員間で共通認識を図り、該当職員が外部研修に参加した後は施設内で報告研修を実施している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	契約時および利用開始時に説明し、周知している。	